

# 放課後児童クラブの地域連携

～地元企業・団体・教育機関との共創で新たな価値を生み出す～

株式会社明日葉

2023.11.28



▲HPはこちら

## 株式会社明日葉

### ■事業内容

学童・放課後施設・児童館・パブリック施設の運営

### ■設 立

1992年10月

### ■社長執行役員

山下 高明

## ▶ 放課後児童クラブとは

保護者が就労等で昼間家庭にいないこどもを対象に、放課後の安全安心な遊びや生活の場を提供し、こどもの状況や発達段階を踏まえながら、こどもの健全な育成を図ることを目的とする施設です。

## ▶ 運営事業所数

事業所数は全国で627か所。

神奈川県内では60か所の放課後児童クラブを運営。

(全国19都道府県)



## 私たちの想い

保護者が安心して託せる、こどもが笑顔になれる居場所(環境)の提供

## こどもたちの「明日を育み、今日を支える」

児童の育成は大人の視点だけではなく  
こどもの幸せを第一に考え、こどもの利益が  
最大限に尊重されるよう  
配慮することが大切であると明日葉は考えます。

## 01. SDGs×理科実験教室（1）

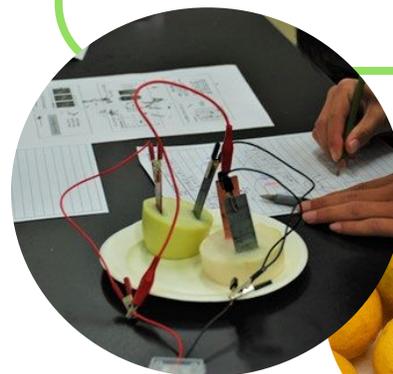
神奈川工科大学 工学部応用化学科の高村 岳樹教授と連携し、「SDGs×理科実験教室」を実施。

実験を通して児童たちに科学の面白さを感じてもらおうとともに、次世代を担う児童たちが楽しみながらSDGsを体験できることを目的にスタートしました。



### 第1回(2022年度冬休み)

「くだもの電池」でエネルギーを発生させる実験を通して、「環境にやさしいSDGsなエネルギーってなんだろう？」をみんなで考えました。



湘南ゴールドも登場！

地場産食材から、「地産地消」「郷土愛」についても考えました。

## 01. SDGs×理科実験教室 (2) 第2回目は2023年度夏休みに、「海辺のプラスチックごみ問題」をテーマに実施。持続可能な未来のためにも、海が身近な存在である児童たちに向けて、海の豊かさを守ることにについて考えるきっかけを提供したいという思いから企画。



午前中にみんなで稲村ヶ崎で  
プラスチックごみを収集！



「プラスチックごみ」とは？  
どんな問題があるの？  
高村教授からレクチャー



いよいよ理科実験スタート！



最後は「プラスチックごみ」を  
キーホルダーに。

「SDGs×理科実験教室」は、各メディアにも取り上げていただきました。

2023年1月 【新聞】タウンニュース緑区版

2023年8月 【新聞】朝日新聞、神奈川新聞 【ラジオ】鎌倉エフエム放送



▲新聞掲載はコチラ



▲ラジオ出演はコチラ

## 01. SDGs×理科実験教室（2）



同SDGsパートナーである鎌倉エフエム放送の番組「鎌倉シーサイドステーション」にお招きいただき、高村岳樹教授と共にゲストとして出演しました。

SDGsをテーマに理科実験教室を行う意図や、地元に根差した活動を行う意義についてお話しました。

## 02. 缶のリサイクルワークショップ

南足柄市に所在するリサイクル企業の高部金属株式会社様が主催するワークショップ&工場見学に児童18名が参加。

スチール缶とアルミ缶の違いを体験しながら学び、リサイクルを行うことの意味を知ること、SDGs目標12の「つかう責任」を理解することにつながりました。



工場見学



スチール缶がショベルカーに  
接着する様子を見て、リサイ  
クル方法を理解しました。



座学で学ぶ



空き缶釣り

## 03. 壁紙端材でSDGs×アート (1)

小田原市に所在する壁紙のデザイン・製造・販売を行う株式会社デコリア様との連携。

「壁紙の端材」を使ったワークショップでは、リサイクル方法について知ることや、絵を描く体験を通してSDGsへの学びを深めました。



デコリアさんから  
壁紙の「端材」について  
レクチャー



「端材」のリサイクルについて  
学ぶ



壁紙の端材に  
「小田原の海」を描こう！

## 03. 壁紙端材でSDGs×アート (1)



「前に大きな鯛を釣ったことがあるよ！」

「この魚、小田原の生き物が載っている図鑑で見たことがある」

地元の海に生息する生き物について楽しそうに話しながら、教室に広げた水色の壁紙いっぱい自由に絵を描きました。

海の底にはペットボトルが沈んでいる様子も。地元・小田原の海への児童たちの問題意識が垣間見えました。

## 03. 壁紙端材でSDGs×アート（2）

株式会社デコリア様との連携第2弾。

小田原市内にあるすべての放課後児童クラブが黒板壁紙の端材に「未来につなげたい！私たちの魅力ある小田原」をテーマにSDGsアート作品制作に取り組みました。その集大成として、「おだわらSDGsデイ2023」でお披露目を行いました。



小田原市内にある学童25か所が、  
90センチ×200センチの黒板端材に  
「私たちの魅力ある小田原」を描きました

### 狙い

- ・制作活動を通じて、持続可能な未来について考える
- ・地域社会へのこどもたちの関心を高める

## 03. 壁紙端材でSDGs×アート (2)

### ワークショップの様子

デコリア社の方々と、こどもたちがブレインストーミング。  
地元について何を描くかを考えていきました。



1人5案ずつ、自分たちの「地元」で  
思い浮かぶ場所をポストイットで  
出しました！



発表！  
次々と出てくる場所に、  
自分たちの地元が浮かび上がってきました



みんなで出し合った場所をもとに、  
いよいよ黒板壁紙端材に絵を描きます

## 03. 壁紙端材でSDGs×アート (2)



「小田原城」「新幹線」「地元の夏祭り」  
「梅の花」「富士山」「自分たちの小学校」・・・

私たちの魅力ある小田原を描いた

SDGsアートが続々完成！！



全25クラブの作品を  
校庭に並べました！

## 03. 壁紙端材でSDGs×アート (2)

### 「おだわらSDGsデイ2023」でお披露目

9月23日、HaRuNe小田原うめまる広場と、おだわらイノベーションラボにて、25クラブの作品を展示。多くのご来場者に鑑賞していただきました。

Think  
MIRAI

小田原から未来を考える／

Think MIRAIについて

おだわらSDGsパートナー

<特別展示>放課後児童クラブが力を合わせてSDGsアートに挑戦！



小田原市「Think MIRAI」でも紹介していただきました



おだわらイノベーションラボにて実物を展示しました

ここ、僕の母校だ。懐かしいなあ



小田原の各地域の特徴がよく出ているね！！

## 04. サイズアウトしたこども服の「おさがり交換会」(地域子育て支援拠点事業)

地球も私も元気になる合同会社・エコルシェの皆さんと連携。

横須賀市内で0～3歳の未就園児と保護者を対象とした子育て広場で、サイズアウトした服を持ち寄って「おさがり交換会」を実施。

地域でおさがり服を循環させるだけでなく、子育て中の保護者同士のコミュニケーションの場をつくることも目的としています。



120 cmまでのベビー・キッズサイズのおさがり服が並べられ、32組の親子にご参加いただきました。



明日葉の子育てアドバイザーが  
お子さんたちを見守りました。  
保護者の方が安心してゆっくり服を  
選ぶサポート。



「こども服はすぐサイズアウトしてしまうから助かる」「質の良いおさがり服が多い」など感想をいただきました！



おさがり交換会が、エコについて考えるきっかけに。  
思い出のあるこども服を通して、地域の保護者さま同士のコミュニケーションも盛んになれば。

## 04. そのほか

かながわSDGs パートナーにとどまらず、神奈川県内で様々なパートナーシップを築き、イベントを実施してまいりました。

“サステナブルなチョコレート”について学ぶ



高校生インターンシップ

三味線やフルートの演奏を体験



連携をすることで、

SDGsや地域社会に対して、こどもたちの関心を高めていく

地域社会の子育てへの貢献、ネットワークの拡大



こどもが笑顔になれる居場所の創造

# パートナーシップで目指したいこと

最後に…



**KANAGAWA SDGs PARTNER**

神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。



あしたば  
明日葉



少しでも興味を持っていただけたら、ぜひお問い合わせください。

明日葉は全国各地で放課後児童クラブを運営しています。

神奈川県にとどまらず、パートナーシップで地域社会に貢献できるようお力になりたいと考えています。